

最上地域	No.122	団体名	鮭川村
------	--------	-----	-----

活動地 鮭川村エコパーク、猿鼻街道沿い湿地帯

団体紹介

鮭川村は山形県北部に位置する、県内でも第1次産業の就業人口が高い村です。稲作経営農業が多く、農地の8割を水田が占めています。また、きのこと類の人工栽培も盛んで、県内生産の約6割が作られています。また、バラやリンドウなど花卉（かき）の栽培も行われています。鮭川は古くからサケの遡上する川として知られ、人工ふ化場も設置されていて、きれいな川としてランクされています。また、村の西部に湧出する羽根沢温泉は、美肌作用があるとして、観光客に親しまれています。

活動内容

① 森林環境教育事業

開催日：令和2年7月11日（土）、ほか

鮭川村エコパークにおいて、地域住民との協働により事業を実施。人と森林の関わりや地域資源と森林の果たす役割を学んだ。



7/11 トンボ池の清掃等



8/22 パーク内環境整備

② 猿鼻街道沿い湿地帯整備事業

開催日：令和2年8月14日（金）

自然保護委員会のアドバイスのもと、ハッチョウトンボの生息地付近、希少動植物の群生箇所などの保全活動を地域住民と協働で行いました。



希少動植物の生息場所となる湿地帯の草刈り

活動を行っての感想

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、例年通りの活動が行えない状態であったが、地域住民との協働作業を通して森林の大切さを学んだ。
- ② 地域の有志により15年前から保全活動が実施され、活動の成果として、年々植物の多様化が見られる。希少昆虫であるハッチョウトンボについては15年前から見るができなくなっており、再び見られるようにするために専門家の意見を聞きながら維持・保全活動を継続していくことが重要と感じた。